

# 同窓会報

2013年(平成25年)10月1日発行  
 [発行] 四日市大学 同窓会事務局  
 〒512-8512 四日市市萱生町1200  
 TEL&FAX 059-365-6791  
 E-mail dousou@yokkaichi-u.ac.jp



## 人間たれ

### CONTENTS

- ご挨拶(会長 伊藤 清)……………1
- 中国天津市で同窓会を開催しました!! ……1~2
- 第一グラウンドが天然芝になります。……………1
- 同窓会成績優秀者奨学金授与……………2
- 頑張ってます、同窓生……………3
- 2013年度 よんよん祭のテーマ  
「Human Magic」……………3
- 「四日市とんてき協会」B-1(クラブ)出展! ……3
- 硬式野球部 東海地区大学野球春季  
三重県リーグ戦初優勝……………4
- 懐かしの先生は、今……………4
- 就職活動状況……………5
- 卒業生への就職支援について……………5
- 四日市大学 平成26年度入試概要……………5
- 名誉教授の称号を授与……………6
- 四日市大学社会連携センターの発足……………6
- コミュニティカレッジだより……………6
- 新設テニスコート完成!  
■同窓会掲示板

### ご挨拶

四日市大学同窓会(経済学部1期生)

会長 伊藤 清

全国の同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、平素より四日市大学同窓会の活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、四日市大学は創立25周年という記念すべき年を迎えました。1988年(昭和63年)に学校法人暁学園と四日市市の公私協力によって設立され、それ以降、建学の精神である「人間たれ」を掲げ、地域に貢献できる人材、国際社会で活躍できる人材を広く社会に送り続けています。国内外を問わず全国各方面で大活躍され評価を得ていることは同窓生として大きな誇りであります。昨今は、国際貿易港を有する四日市に設立された大学だけに世界に視野を向けた国際化を図っており、アジアからの留学生数が飛躍的に伸びています。

私達は、同窓会の活動目的である「会員相互の親睦交流と母校の発展に寄与すること」を常に意識し、国内外を問わずさまざまな形で実現していきたいと考えております。そこで、兼ねてから要望の多かった海外での同窓会を開催することに致し



【P2】中国天津同窓会



【P3】頑張ってます、同窓生



【P4】懐かしの先生は、今

ました。留学生の中で特に出身者が多い中国の天津市を会場に選び、多くの卒業生にお集まり頂きました。(詳細は、次面の記事にて)

今後も皆様のお力添えを頂き、会員相互の親睦交流を深め、皆様に関心をお持ちいただけるような努力をさせて頂く所存です。

ところで、私の勤務先は三重県なので「私も四日市大学の卒業生です」と声をかけていただくことがあります。身近に大勢の仲間が居て、私自身も四日市大学の卒業生であることを伝え合って仲間と繋がり、同時に四日市大学の情報を社会に発信して相互発展の実現に寄与する。そのことを強く感じるようになりました。

お互いに「情報」を発信して繋がり合うためにも、会員の皆様には是非とも同窓会活動に参加して頂きたいと思えます。例えば、毎年、大学祭期間中に開催している「同窓会総会」には参加して頂くことで、大学の最新状況もキャッチして頂けますし、情報に触れることで「理解」が生まれ、連帯感が育まれるのだと思います。

私達は同じ建学の精神を学んだ仲間同士です。その思想を脈々と繋ぐことで、感動を皆様と共有したいと願っています。そして新しい半世紀に向けたスタートを皆様と共に歩んで参りたいと思います。

2013年8月31日

# を開催しました!!



2013年8月31日、留学生同窓会パーティーを天津にて開催しました。大学関係者として、留学生支援委員会委員長の加納光先生、暁学園理事長特命補佐の西牧義江先生、留学生支援委員の岡良浩先生にご来賓をいただき、留学生同窓生と、現役の中国出身の留学生を交えた、和やかなパーティーを開催することができました。

会場は天津市の中心地で、イギリス疎開地であった場所にたたく「港仔頭菜楼」というレストランで、卒業以来の先生との再会には、同窓生も笑顔と握手で再会を喜びました。

会に先立ち、卒業生を代表して任焱(経済学部7期生)さんが開会の挨拶をされ、また加納先生から来賓を代表してご挨拶を頂きました。歓談では、留学生生活の苦しくも楽しかった話や近況報告など話題はつきませんでした。

今回の会を通し、母校や日本、四日市の様子を生の声として届けることができました。また、海外での留学生同窓生のネットワーク作りの第一歩を踏み出したといえます。

ご出席をいただきました加納先生、西牧先生より同窓会の様子や今後の展望について寄稿いただきました。

## 「留学生同窓会に出席して」

留学生支援委員会委員長

加納 光

今回、中国天津で開催された第2回留学生同窓会に出席する機会を得ました。あいにく仕事や家庭の事情などにより当日の欠席者が多く、参集した卒業生は少数ではありましたが、それでも開学当初に在籍した卒業生の姿もあり、本学の25年におよぶ留学生の歴史を振り返るまたとない機会となりました。

久しぶりに再会した卒業生は、学生時代とは風貌も変わり、社会人としての風格さえ感じられ、見違えるほどの成長を見て取ることができました。年齢的にも、勤め先では役職者の立場にある卒業生も多く、中堅として活躍している彼らを、頼もしく、そして誇らしくも感じました。

国籍を問わず、卒業生は大学の最大の理解者であると同時に、大学に様々な恩恵をもたらす人的な財産・資源でもあります。卒業生の活躍は、大学の名声と社会的信用を高め、在校生にも大きな夢や目標を与えます。第一線で活躍する卒業生と密接なネットワークを構築して、彼らの理解と支援を得ることは、大学をバックアップする更なる体制の強化にもつながります。

瞳を輝かせ、自らの今と未来を熱く語る卒業生との楽しい語らいを終え、彼らの今後の活躍と四日市大学の留学生同窓会の更なる発展を祈念しながら同窓会を後にしました。

## 第一グラウンドが天然芝になります。

四日市大学第一グラウンド(サッカー場・アメリカンフットボール場)が天然芝化され、とてもきれいなグラウンドに生まれ変わりました。

今回の企画は、日本サッカー協会の「ポット苗方式芝生化モデル事業」に四日市大学が応募したところ、みごと採択されて芝の苗76,000株を無償で提供していただくことができました。

そして、7月6日・7日に全ての株の苗を現役の学生のみならず、サッカー部とアメフト部のOB、暁高校サッカー部、FC四日市の選手および各関係者の皆様にご協力いただき、手作業で植え付けました。

現在はスクスクと元気に成長し、グラウンド一面に緑のじゅうたんをひいたように美しくキラキラと光り輝いています。

同窓生の皆様は、お近くにお寄りの際は、是非、ふかふかのグラウンドを見学にお立ち寄りください。今回、同窓会としては、母校への協力事業の一つとして「芝の維持管理に必要な費用」の一部を援助することを決めさせていただきました。

今後とも同窓会活動に対しましてご理解を賜りますようお願い申し上げます。



# 中国天津市で同窓会



暁学園理事長特命補佐  
西牧 義江

それぞれにみんなすばらしい

天津市で開催された海外留学生による第一回同窓会で、なによりも感激したことは、ある者は大学の日本語講師に、ある者は松下電器の責任者に、ある者は天津経済特区の海外部門の責任者等々、四日市大学の卒業生が、それぞれ、みんな自分に合った職業、自分に合った生き方をしているということだ。

しかも、感激は、これだけではなかった。彼等留学生とホテルの近くの小さな韓国料理店に入った時のことだ。

「先生！先生！」といきなり二人の女の子から声を掛けられた。二人の女の子との接点を必死に思い出そうとするのだが、どうしても思い出せない。

思い出せないのは当たり前で「先生！」と声を掛けられたのは私ではなく、四日市大学の卒業生で、今、天津師範大学で日本語を教えている留学生の畢重玉さんの方だったのだ。二人の女の子は「先生は私の先生の先生」。「私たちは先生の学生の学生です」と。中国―天津で、先生冥利に尽きる、胸の熱くなる体験をした一時だった。

最後に、卒業生を代表して任焱さんが「今回の同窓会はたった10人だったが、この小さな小さな一人一人の絆が、次の5年、10年後には、今の5倍、10倍にも大きな輪になることは間違いない」と挨拶し、同窓会より大学の発展を祈願して、天津の民芸品「泥人形」が記念品として贈呈され、四日市大学の校歌を斉唱して、再会を誓ったのだった。

## 平成25年度同窓会 成績優秀者 奨学金授与

今年度も、本会の事業のひとつである「同窓会成績優秀者奨学金」の授与式が、平成25年7月19日に行われました。

これは、学業に優れた学生に対して、一層の研鑽に努め、経済的負担を軽減するため、平成15年度より始めたものです。

当日は、本会 佐藤副会長より、成績優秀者へ奨学金5万円が授与されました。

今回の表彰者は左記の6名です。

- 経済学部 中村 一真
- 環境情報学部 三羽 雄万
- 環境情報学部 萩野 泰弘
- 環境情報学部 水野 衛
- 総合政策学部 尾崎 雅
- 総合政策学部 五十棲 慶輔

今後とも皆さんのご活躍を期待しています。



# 頑張ってます、同窓生

経済学部2期生

加藤 隆 幸

四日市大学同窓生の皆様、大学関係者の皆様こんにちは。月日が経つのは本当に早いもので、卒業して20年が経ち、今は3人の子供の父親です。

私が四日市大学に入学したのは1989年の4月でした。その頃の四日市大学は、規模も小さく施設もあまりなく、でも学生はいっぱいいて屋外でたくさん友人たちと集まり、楽しい毎日だったことを覚えていています。

今私は、地元四日市のトヨタカローラ三重大矢知富田店の店長をしております。四日市大学から近い店ですので今でも四日市大学には大変お世話になっていて、大学祭でも毎年声を掛けていただき展示会を行ったり、去年は私の店のグラランドオープンイベントに四大生のバンドや職員の方にもご協力いただき演奏などを行っていただいたりと20年が経っても四日市大学に通っているみたいです。

また、大学時代の同期生、先輩、後輩、先生方、職員の方とも仕事を通じてお付き合いをたくさんいただいでいて、大学4年間の財産に感謝しております。私にとっての四日市大学の4年間は勉強だけではなく、人との出会い、結びつきだったと思います。今の自分があるのも四日市大学をはじめ今まで

のすべての人との出会いのおかげであり、これからも人との出会いを大切にしていきたいと思っています。

同窓会は四日市大学を通した、人の繋がりがです。お客様が四大の卒業生と聞くと何か特別な親近感が湧いてきます。そんな繋がりを大事にしていきたいと思ひ、大学への思返しのつもりで今も同窓会の会計監査の役をさせていただいておりますが、今後も8,000人を超える同窓会会員の皆様との出会いを楽しみに、また、同窓会が大学の、学生の、また同窓生の役に立てる活動が行えるようにお手伝いをさせていただきたいと思ひます。



## 2013年度 よんよん祭のテーマ 「Human Magic」

10月26日(土)・27日(日)に「よんよん祭」が開催されます。「よんよん祭」とは、四日市大学と四日市看護医療大学の合同大学祭のことです。

今年のテーマは「Human Magic」私達にできること」。

自分ができることはもっとあるのではないかと、発想を変えらることで、さらなる力を生めるのではないかとという想いで、サークルやゼミがお互いの発想を刺激しあい、吸収しあい、尊重しあえる場を作りたいたいと思ひが込められています。

今年の模擬店出店数は過去最大店舗数を目指し、また昨年度好評であった外部団体の模擬店なども店舗数を増やし、より一層の盛り上がりを目指します！。焼きそば、たこ焼きといったお祭りの定番商品からタンドリーチキン・水餃子など手の込んだ商品も予定しております。また、展示企画では各々が日々の活動の成果を発表してくれます。両大学の文化系部と四日市大学に関わりのある団体にも参加していただきます。

そして今年の見玉はステージ企画です。中庭に特設ステージを組み、一般の方が参加できる、じゃんけん大会、カラオケ大会をはじめ、コスプレコンテスト、ダンスなど多数の企画をご用意しております。

大人も子どもも楽しめる「よんよん祭」是非遊びに来てください。

四日市大学 よんよん祭実行委員長

西岡 大輝(環境情報学部3年)

## 「四日市とんてき協会」 ビーグランプリ出展!

今年も総合政



策学部の小林教授が率いる「四日市とんてき協会」がご当地グルメでまちおこ

しをしている団体の祭典「ビーグランプリ」に出展します。

第8回目となる今年の「ビーグランプリ」は、11月9日(土)・10日(日)愛知県豊川市を舞台に開催。「四日市とんてき協会」は、三重県最多を誇る連続4回目の出展になります。

近場での開催ですし、地の利も活かして、今年こそ是非とも入賞することを、大いに期待したいところです。

もし入賞すれば、母校四日市大学が立地している四日市市の、知名度の向上やイメージの改善にもつながること間違いなし!

総合政策学部の学生も、同協会のスタッフとして何人も参加します。同

窓生の皆さんも、秋の1日、母校の関係者の活躍を応援しに、豊川まで足を運ばれては如何でしょうか?



# 硬式野球部

## 東海地区大学野球春季

### 三重県リーグ戦

### 初優勝

東海地区大学野球春季三重県リーグ戦において、硬式野球部が創部24年目で悲願の初優勝を飾りました。リーグ戦中は苦しい試合もありましたが、結果8勝1敗の勝ち点4で、完全優勝を達成することが出来ました。

その後、「全日本大学野球選手権大会出場」をかけた東海選手権大会に出場しましたが、惜しくも



左から服部副主将、黒田コーチ、木下監督、宗村理事長・学長、永戸常務理事、森崎主将、岩崎副学長

敗退し神宮出場という目標達成とはいきませんでした。今回の経験を糧に日々精進してまいりますので、ご声援いただきますようお願いいたします。

# 懐かしの先生は、今

## 「卒業生諸君、こんにちは」

環境情報学部 教授

武本 行正

1988年の四日市大学創設と同時に本学に赴任し、もう25年になります。開学当時は研究室がなく、1号館の2階の121教室を仮の職員室にして、机を並べておりました。

その後、計算機センターの設置を命ぜられ、漸く秋に建屋が完成した4号館の1階に富士通の汎用中型機を導入し、端末兼パソコンとして、センターの事務室にFMR機を50台並べました。その後、時代の進展とともに、汎用機は、UNIXのSUN機に替り、更にパソコンへと置き換えられました。本学は、当初から情報教育に力点を置いていて、開学時経済学部の単科大としては充実した設備であったと思います。

その後、1997年に環境情報学部が出来て、初代の学科長として植田学部長を補佐して、諸々の授業環境の整備に努力しました。豊島・山形両教授を中心に設計されたスタジオは開設当初から立ち上げが出来ましたが、環境系の設備は、「実験実習棟」が2001年にやっと竣工し、大気・水質・土壌・生物などの分析が出来るようになり

ました。もちろん、情報系のパソコン教室も大教室が7、ゼミ用の小教室が6、ノート型の貸出も多く取り揃えることが出来、ネット環境も充実し全学で利用しています。

経営学科の時は、経営工学やパソコン処理を授業やゼミで教えていましたが、環境情報に移ってからは、環境工学や大気汚染・水質汚濁の分析やシミュレーションがゼミでの課題になりました。ゼミ生諸君と周辺の河川・湖沼調査やゴミ焼却場、下水処理・浄水場、各種工場見学に行ったり、飲み会をしたり、また夏季のゼミ合宿など思い出が多い。経験上いろいろの現場で、まず見てもらうことが大切です。物事は体験してみないと解りません。理論や理解はその後でいいと思います。

研究面では、四日市公害当時の煙源(故北島教授のデータ利用)から、3次元拡散シミュレーションを実施し、地表濃度が如何に危機的状況であったかを示しました。また、友好

都市の天津市の調査を行い(新田・大倉教授や総合の鬼頭教授、経済の岡准教授らと)、市内6区の硫黄酸化物の拡散シミュレーションを実施し、煙源対策を示しました。現在も華北の石家荘や北京市周辺は粒子状物質(PM)や窒素酸化物汚染が酷く、ご存知のように偏西風に乗って日本にも来ます。2011年からはモンゴル国のウランバートル市の冬季の大気調査(PM汚染が深刻)を実施しています。卒業生諸君も社会の中堅、若手として、現場主義を實踐し、ご活躍中と思います。皆さん方に負けじと、HP(特に各学部のHP)に大学の活躍やホットな話題も掲載しています。時々、大学にも遊びにきて下さい。



# 就職活動状況

## 四日市大学就職率…94.4%

(前年度比0.2ポイント増)

平成24年度就職状況(2013年3月卒業生)は、四日市大学卒業生就職率94.4%となり、全国大学生就職率(93.9%)を0.5ポイント上回る結果となりました。昨今の就職不況下であっても本学の学生達は、確実に内定を獲得して高い就職率を達成することが出来ました。

当年度の採用戦線・就職活動を総括する上で、大きかった環境の変化と例えば、日本経済団体連合会が2011年3月に公表した「採用選考に関する企業の倫理憲章」です。企業の採用広報活動が3年生の12月以降に開始することと明確に規定したことで、前年度と比べると活動期間が2ヶ月短縮されたこととなります。

四日市大学ではその対策として、就職ガイダンスの回数を増やすなど、早期から就職に対する意欲を高め、準備を万全に整えた上で12月1日スタートとなる就職活動に備えることにしました。また、長年企業の人事採用に携わってきた就職アドバイザーを配置し、中小企業を中心に求人情報の収集や、学生の要望にきめ細かい個別指導を徹底したことで高い就職率を実現することができたのではないのでしょうか。

### 平成24年度 主な就職・進学先(順不同)

カーチスホールディングス 協和医科器械 三重日立 日産プリンス三重  
 ネットトヨタノヴェル三重 一号館 バロー NTTコムニケーションズ  
 アドバンスト・アプリケーション CTY 日本貨物検数協会 情報と物流のタカスエ  
 霞エンジニアリング 朝日土木 三重県警察本部 豊田市消防 サンデーフオークプロモーション  
 総合舞台 三重総合警備保障 SGフィルダー はま寿司 旅館清龍 菊水化学工業  
 佐川印刷 東洋化工機 東海東京証券 三重大学大学院 岡山大学大学院 他

## 卒業生への就職支援について

四日市大学キャリアサポートセンターでは、卒業後も継続して、卒業生に向けた就職支援を行っています。

支援内容は以下のとおりです。

1. 大学に届いた求人情報の提供  
 企業から届いた求人票を閲覧することができます。また、学内に設置されたパソコンから、求人検索システムを利用して検索することができます。

2. 面接対策、就活アドバイス  
 採用試験の面接対策として、模擬面接を実施しています。また、希望する就職に対する個別相談も実施しています。

3. 履歴書やエントリーシートの添削など  
 履歴書やエントリーシートの添削や一般常識などの筆記試験対策などのアドバイスを実施しています。  
 詳細・お問合せは、キャリアサポートセンターまで TEL(059)3605-6721

## ◆◆◆四日市大学 平成26年度入試概要◆◆◆

### 募集学部

経済学部 経済経営学科  
 環境情報学部 環境情報学科  
 総合政策学部 総合政策学科

### 入試日程

#### 推薦入試

A日程	11月 2日(土) 11月 3日(日)	一般推薦、自己推薦、クラブ推薦
B日程	12月 8日(日)	一般推薦、自己推薦、クラブ推薦
C日程	3月 7日(金)	クラブ推薦

#### 学力入試

A日程	1月30日(木)	2科目入試
B日程	2月21日(金)	2科目入試
C日程	3月 7日(金)	1科目入試

#### 大学入試センター試験利用入試

I 期日程	出願期間：1月 6日(月)～2月 3日(月)
II 期日程	出願期間：2月 5日(水)～2月21日(金)
III 期日程	出願期間：2月24日(月)～3月 7日(金)
IV 期日程	出願期間：3月10日(月)～3月24日(月)

#### AO入試(随時型)・社会人入試

出願期間：平成26年3月24日(月)まで随時

### Wチャンス入試のご案内

- 1日分の検定料で、推薦入試A日程が2日間受験可能。
- 学力入試とセンター利用入試を同時期受験の場合、センター利用入試の検定料が無料。

### 四日市大学入学試験特待生について

- 一般推薦、学力および大学入試センター試験利用入試で特待生(I種またはII種)を採用します。
- 特待生として採用された場合は、授業料等(授業料・教学費・教育充実費)の50%(I種)または30%(II種)を原則4年間減免します。

学 部	奨学金減免額		特待生定員
	I種	II種	
経 済	435,000円	261,000円	30名 (I種、II種 合わせて)
環境情報	482,500円	289,500円	
総合政策	482,500円	289,500円	

※詳細につきましては、平成26年度入学試験要項でご確認下さい。

### 資料請求・お問い合わせ

#### 四日市大学 入試広報室

〒512-8512 四日市市萱生町1200  
 TEL：059-365-6711  
 E-mail：nyushi@yokkaichi-u.ac.jp

f facebook

<http://www.facebook.com/YokkaichiU>

※様々な情報を発信しています。同窓生のみならずぜひご参加ください。

# 名誉教授の 称号を授与

四日市大学名誉教授の称号が、平成25年6月26日付で、河崎亜洲夫前経済学部教授に授与されました。河崎先生は、平成二年にご就任されて以降、学生指導にご尽力いただき、経済学部長等の重役を歴任されました。



宗村学長(右)から授与された  
河崎亜洲夫四日市大学名誉教授(左)

## 四日市大学社会連携センターの発足

平成25年4月、四日市大学社会連携センターが発足しました。「本学の学術研究及び人材を通して社会との連携活動を幅広く推進することにより、地域社会の発展及び本学の研究、教育の進展に資すること」を目的としており、既存の四日市大学研究機構、地域連携担当、コミュニティカレッジ、新設のボランティアセンターを4つの部門とし、地域との連携を一元的に推進する役割を担うことになっています。

四日市大学は北勢地域における社会科学系唯一の大学であり、まさに「地(知)の拠点」です。多様な地域課題が山積している今日、3つの学部の専門的知識を有する教員群、若くエネルギーにあふれている学生たちは、地域における資源の宝庫です。地域の課題解決にこれらの資源を積極的に生かすことは時代の要請でもあり、大学の教育研究の発展にもつながります。また超高齢時代を迎えて、社会人学生や科目等履修生、コミュニティカレッジなど、生涯学習の場としての大学の魅力も大きいものがあります。

ただ、大学のしくみや活動は地域の人々からはわかりづらく、どうアクセスしたらいいのかわからないという印象を持たれています。大学という資源を地域に生かすためには、大学が地域に対して何ができるのかをわかりやすく示すとともに、地域からの要請に迅速かつ的確に対応することが何より重要です。また、これまでは地域とのつながりが個々の教員に委ねられていることが多かったのですが、これを大学全体の組織的な取組みにすることが、地域貢献活動の促進を図る上で必要です。

社会連携センターは、これらの任務を果たすため、これまでの社会連携活動を基盤としながら全学的な推進体制を構築し、地域に愛される大学となるよう活動を進めていきます。

### 四日市大学社会連携センター

- 研究機構部門**  
・関学和数学研究所他
- 地域連携部門**  
・学生と地域の協力、協働の推進
- ボランティア部門**  
・ボランティアセンター
- コミュニティカレッジ部門**  
・コミュニティカレッジ

センターを構成する4部門

## コミュニティカレッジだより

コミュニティカレッジの各種講座をたくさんのお客さんの方も受講され、自己研鑽やスキルアップにお役立ていただいております。これからも多くの方々のご受講、心よりお待ちしております。

※お客さんの皆様には、**受講料2割引**の特典があります。

### ▼2013年11・12月開講予定講座

教養・健康	7種10講座	写真・絵画・三味線・話し方・社交ダンス デジタル講座・陶芸
英会話	11講座	入門～上級
語学講座	5ヶ国語16講座	中国・フランス・スペイン・ドイツ・韓国
パソコン	4講座	入門～応用

### 韓国語会話【中級】

講座番号:1309366

【講座内容】この講座では、より自然で実用的な韓国語会話を身につける事を目指します。基礎文法をしっかりと学び、ロールプレイングやペアワークなどを通じて日常会話力を高めます。またドラマレッスン等で韓国文化も紹介します。



**裴 京香**(ペ キョンヒャン)

アノハセヨ!裴京香と申します。2002年より韓国語講師としての経験を積み、幅広い年齢層の方々とお勉強してきました。現在四日市で韓国語教室を運営していますが、韓国語を学ぶ楽しさが伝わるようなレッスンを常に心がけています。

**曜日・時間** 土曜 11:00～12:30

**講座日程** 11/2・9・16、12/7・14・21

**対象** 簡単なコミュニケーションが韓国語のできる方、  
基本的な文法・語彙を学んだ方

**受講料** 9,900円

### お問い合わせ先

四日市大学コミュニティカレッジ 〒512-8512 四日市市萱生町1200 TEL:059-365-6615 FAX:059-361-0770

E-mail : caeb@yokkaichi-u.ac.jp http://www.yokkaichi-u.ac.jp/caeb/

■営業時間 火曜～金曜・9:30～17:00、土曜・8:00～15:00 ■定休日 日・月曜日

# 新設 テニスコート完成!

この度、四日市大学学内に第2テニスコートが新設されました。場所は学生駐車場のすぐそばで、3面のコートにはナイター設備も整備されています。

お披露目式は平成24年11月7日(水)に行われ、宗村南男学長のご挨拶に続き、永戸正生暁学園常務理事による始打式で締めくくられました。

後輩たちの今後の活躍が大変楽しみです。

仕様：オムコート(砂入り人工芝)  
透水性に優れ、雨天時にも使用可能な全天候型コート。  
ナイター照明4棟(16機)



## 同窓会掲示板

### 第8回 ゴルフコンペのご案内

- 1.日 程：平成25年11月3日(日)
- 2.場 所：亀山ゴルフクラブ
- 3.会 費：2,000円(賞代+パーティー代)  
プレー費11,000円(乗用セルフ 昼食付)
- 4.申込期限：平成25年10月21日(月)
- 5.申 込 先：下記までメールでお申込ください。  
E-mail:dousou@yokkaichi-u.ac.jp

幹事 経済学部1期生 佐藤・井高



『沢山の卒業生に参加してほしいと思います!初心者も大歓迎です。みんなで楽しくゴルフネットワークの輪を広げましょう!』『いつ参加するの?』『今でしょ!』

### 名簿作成の 不審電話・ダイレクトメールにご注意

最近、四日市大学や同窓会事務局の名前を騙って、住所や連絡先(電話番号)、お勤め先を聞きだす電話やダイレクトメールが増えています。

これは、大学および同窓会事務局とはまったく関係がありませんので、くれぐれもご注意ください。なお、住所が変更になったときは、同窓会事務局までお知らせください。

### 編集後記

皆さんは、大学時代の同窓生とは連絡をとってみえますか? 電話、メール、年賀状と年を追うごとに少なくなってきています。そんな折、大学時代の友人が結婚しパーティーがありました。久しぶりに大学時代の仲間が集まり、短い時間でしたが、懐かしく楽しいひと時を過ごすことができました。仲間とは未永く連絡を取り続けていきたいものです。

この会報も末永くご愛読いただき、母校の情報や同窓生の情報をより一層充実した内容で発行したいと思い編集にあたってきました。来年は記念すべき第20号です。よりよい紙面づくりのため皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。

## 平成25年度 同窓会総会のお知らせ

平成25年度の総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。当日は母校の大学祭が開催されています。多数の方の参加をお待ちしております。

日時：平成25年10月26日(土) 13:00~  
場所：四日市大学2号館 211教室  
お問い合わせ：同窓会事務局  
TEL (059)365-6791

## 同窓生便り

四日市大学ご卒業の皆様・お世話になった大学関係者の皆様  
こんにちは。

卒業から早いもので10年あまりが経ちました。

大学生活は毎日が楽しく有意義な日々であったことが鮮明に蘇ります。

当時、もともと旅行が好きで旅行業界に強い憧れを抱いていた私に、就職課の的確なサポートのおかげもあり、志望していた会社に携えることが出来、現在に至っております。普段は企業や団体などへの営業から旅行企画提案、それに伴う手配から添乗業務をしています。

お客様が楽しんでいただくために、アイデアや好きなことを盛り込んで提案し、反映させる機会が多く、自分の考えが商品となり、とてもやり甲斐を感じております。

入社後、名古屋での勤務が続きましたが、今年1月より地元四日市での勤務となりました。

もし、皆様でご旅行ご計画の機会がございましたら是非ご相談ください。親身になってお答えさせていただきます。何卒、宜しくお願致します!

これからも「日々感謝」の気持ちを大切に、「情熱と実行力」と共に「向上心とスピード」を常に持ち、頑張っていきたいと思っております。

佐藤 篤(経済学部11期生)

名鉄観光サービス株式会社 四日市支店  
TEL 059-353-8558



### 原稿 募集

皆様の会報への参加企画として、サークルやゼミなどの「同窓会のお知らせ」や「結婚しました!」「お店をしているので是非きてください。」など近況

の原稿を募集しております。

また、ご意見やご希望などございましたらお寄せください。

